

竹中育英会新学生寮の運用を開始しました

当会創立60周年記念事業の一つとして、建設工事が進められている同寮の1期工事（寮室・食堂・他主要施設）が無事完成し、昨年11月より運用を開始しています。

これは、築58年を経て老朽化が目立ってきた東京都練馬区の当会学生寮を、快適な学習環境を備えた新学生寮に建替える事業です。

寮生への負担を軽減すべく、工事期間中は旧寮に居住し続けながら、完成後、短期間に新寮に引っ越すという綿密な計画の元、寮生の学習・研究への支障を最小限にすることが出来ました。

11月中旬からは、旧寮の解体工事に着手し、玄関・エントランスホール・管理人室を増築、またバスケットボールコートと生物多様性に配慮した緑豊かな外構工事を進め、本年秋には完成を迎える予定です。

建物の特徴

近年の寮生数も勘案し、シンプル・コンパクト、そして木の持つ柔らかさを活かした新寮を計画しました。また、学習環境の充実を図り、省エネルギーにも貢献できる工夫を随所に取り入れています。

周辺の生きものや植生調査に基づき、生態系ネットワークの起点となるようなオープンスペースも提供。更に充実した学生生活を送れるよう、四季を感じ人と自然との交流も体験できる、知的創造性豊かな場となるよう運用面でも試行していきます。

そこに住まう寮生だけではなく、全奨学生の集いのシンボルとなれるような施設の利用方法を、寮生・事務局で検討してまいります。



ラウンジ



1階共用部



寮室内



完成予想図